

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the U.S. Postal Service with sufficient postage as First Class Mail, in an envelope addressed to: Commissioner for Patents, Washington, DC 20231, on the date shown below.

Dated: May 21, 2002

Signature: 

(Robert B. Cohen)

Docket No.: SCEISZ 3.0-125
(PATENT)

MAY 28 2002

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Patent Application of:
Ohba et al.

Application No.: 10/085,353

Group Art Unit: 2152

Filed: February 28, 2002

Examiner: Not Yet Assigned

For: INFORMATION PRESENTATION SYSTEM,
INFORMATION PROCESSING SYSTEM,
METHOD FOR PROVIDING INFORMATION,
METHOD FOR PROCESSING
INFORMATION, AND DATA STORAGE

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents
Washington, DC 20231

Dear Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign applications filed in the following foreign countries on the dates indicated:

Country	Application No.	Date
Japan	2001-054386	February 28, 2001
Japan	2002-043434	February 20, 2002

In support of this claim, certified copies of the original foreign applications are filed herewith.

Dated: May 21, 2002

Respectfully submitted,

By 

Robert B. Cohen

Registration No.: 32,768

LERNER, DAVID, LITTENBERG,
KRUMHOLZ & MENTLIK, LLP

600 South Avenue West
Westfield, New Jersey 07090
(908) 654-5000
Attorneys for Applicant

4



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application: 2001年 2月28日

出 願 番 号
Application Number: 特願2001-054386

[ST.10/C]: [JP2001-054386]

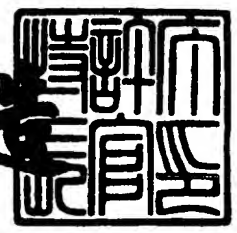
出 願 人
Applicant(s): 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2002年 1月25日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3001853

【書類名】 特許願

【整理番号】 SCEI00097

【提出日】 平成13年 2月28日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区赤坂 7 丁目 1 番 1 号 株式会社ソニー・コン
ピュータエンタテインメント内

【氏名】 大場 章男

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区赤坂 7 丁目 1 番 1 号 株式会社ソニー・コン
ピュータエンタテインメント内

【氏名】 茶谷 公之

【特許出願人】

【識別番号】 395015319

【氏名又は名称】 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント

【代理人】

【識別番号】 100099324

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴木 正剛

【選任した代理人】

【識別番号】 100108604

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 義人

【選任した代理人】

【識別番号】 100111615

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐野 良太

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 031738

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供装置、情報処理装置、情報提供方法、情報処理方法、記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、

キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報が記録されるキャラクタ情報記録手段と、

前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、

前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報、前記キャラクタ情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする、情報提供装置。

【請求項 2】 前記巡回番組のインデックス情報を記憶する巡回番組インデックス情報記憶手段をさらに備え、前記巡回番組情報送出手段は前記ユーザ端末からの要求に応じて前記巡回番組のインデックス情報を前記ユーザ端末に送出する、請求項 1 記載の情報提供装置。

【請求項 3】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、

前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項4】 ウェブサイト記録手段をさらに備え、前記巡回番組情報解読部は、前記巡回履歴情報によって指定されるすべてのウェブサイトに予めアクセスするとともに、そのウェブサイトの情報を前記ウェブサイト記録手段に記録する、請求項3記載の情報処理装置。

【請求項5】 キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とからなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、

前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させることを特徴とする、情報提供方法。

【請求項6】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、

を実行することを特徴とする方法。

【請求項 7】 ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、キャラクタがウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、

ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とをまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させる、コンピュータプログラム。

【請求項 8】 ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、

前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、

前記巡回番組情報を解読する処理と、

前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウ

ェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、

表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとの表示を時系列的に表示する処理と、

を実行させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 9】 請求項 7 または 8 に記載されたコンピュータプログラムを記録した、コンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等のネットワーク上で、豊富な情報の中から、ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行う技術に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

インターネットの普及により、ネットワーク上には豊富な情報が溢れており、全世界で、正確な数がわからないほど多数のウェブ（Web）サイトが構築されている。これにより、インターネットのユーザは、大量の情報に何時でもアクセス可能な状態にある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、情報があまりに大量にあるために、ユーザが、所望の情報がどのウェブサイトにあるかを検索する事が困難になってしまい、せっかくネット上に大量の情報が用意されていても十分に使いこなせないでいるという現状がある。

【 0 0 0 4 】

ユーザによるウェブサイト検索をサポートするために、ポータルサイトによる分類や、自動的なデータマイニング等が行われているが、余暇の時間を使ってネットサーフィンを楽しむときのように目的が明確でないときには、興味をそそられるようなウェブサイトを検索することが困難になっており、つい、いつも視聴しているウェブサイトにアクセスしてしまいがちである。

【 0 0 0 5 】

また、ポータルサイトによる機械的な分類や自動的なデータマイニングは、ウェブサイトの検索の際に検索指向が著しく限定され、幅広い分野からの検索、散策的なウェブサイト検索を妨げている。

以上のようなことから、ネットワーク上には豊富な情報があるにも関わらず、広範な範囲の情報を得ることが難しくなっている。

【 0 0 0 6 】

よって、本発明の目的は、ネットワーク上のウェブサイト情報を、ユーザに興味を持たせるように編集した番組を作成し、ユーザ端末においてそのようなウェブサイト情報を自動的に再生可能にするための技術を提供することにある。

【 0 0 0 7 】

さらに、本発明の他の目的は、いわゆるカリスマと呼ばれるような有名人、専門家、仮想的なキャラクター（以下まとめて、カリスマキャラクターと呼ぶ。）が、それらの個性・特徴を反映した視点から、実際にインターネット上のウェブサイトを巡回した過程を、ウェブサイト巡回履歴情報として編集した巡回履歴情報を所定の演出情報とともに再生することにより、ユーザに対し、あたかもカリスマキャラクターが興味深いウェブサイトを実際に案内しているかのように感じさせ、ユーザの興味を深めるための技術を提供することにある。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記課題に対応した本発明の情報提供装置は、ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクターがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、キャラクターの画像情報を含むキャラクター情報が記録されるキャラクター情報記録手段と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクターの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクターのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、前記ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する前記巡回履歴情報

、前記キャラクタ情報及び前記ストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

情報提供装置は、前記巡回番組のインデックス情報を記憶する巡回番組インデックス情報記憶手段をさらに備え、前記巡回番組情報送出手段は前記ユーザ端末からの要求に応じて前記巡回番組のインデックス情報を前記ユーザ端末に送出する、ようにも構成することができる。

【 0 0 1 0 】

上記課題に対応した本発明の情報処理装置は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報をネットワークを介して受信する通信制御部と、前記通信制御部が受信した巡回番組情報を解読する巡回番組情報解読部と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する画面表示制御手段と、を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

情報処理装置は、ウェブサイト記録手段をさらに備え、前記巡回番組情報解読部は、前記巡回履歴情報によって指定されるすべてのウェブサイトに予めアクセスするとともに、そのウェブサイトの情報を前記ウェブサイト記録手段に記録する、ように構成することもできる。

【 0 0 1 2 】

上記課題に対応した本発明の方法は、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を、ネットワークを介して接続されたユーザ端末に提供する方法であって、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイ

トへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とからなる巡回番組情報を前記ユーザ端末に送出し、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

上記課題に対応した本発明の方法は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供する装置において実行される方法であって、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示する処理と、を実行することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

上記課題に対応した本発明のコンピュータプログラムは、ユーザ端末にネットワークを介して接続されており、キャラクタがウェブサイトを紹介するコメントを表示する巡回番組を表す巡回番組情報を、前記ユーザ端末に提供するコンピュータに、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報と

をまとめて巡回番組情報として送出させ、前記ユーザ端末において、巡回番組情報を解読させ、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせるとともに、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとを時系列的に表示させる、ことを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

上記課題に対応した本発明の他のコンピュータプログラムは、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報と、前記巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、前記キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、前記キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報とを含んで構成される巡回番組情報により、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組をユーザに提供するコンピュータに、前記巡回番組情報をネットワークから受信する処理と、前記巡回番組情報を解読する処理と、前記巡回履歴情報および前記ストーリー情報に基づいて、ウェブブラウザにウェブサイトの自動巡回を行わせる処理と、表示装置に、ウェブブラウザの表示画面と、キャラクタの画像と、前記ウェブブラウザによって表示されるウェブサイトに対する前記キャラクタのコメントとの表示を時系列的に表示する処理と、を実行させることを特徴とする。

上記のコンピュータプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録することも可能である。

【 0 0 1 6 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面を参照して詳細に説明する。

図 1 は、本発明の一実施形態の全体構成を概略図示したものである。

本実施形態では、巡回番組提供サイト 1 0 とユーザ端末 2 0 とがネットワーク L を介して接続される。ネットワーク L は、インターネット、イントラネット等の多数のユーザがアクセス可能なものである。

ウェブサイトを巡回しながら各ウェブサイトの紹介を行う番組（以下、巡回番

組と呼ぶ。)を記述する巡回番組情報が巡回番組提供サイト10により提供される。ユーザは、この巡回番組情報を、ネットワークLを介してユーザ端末20により入手する。ユーザ端末20は、入手した巡回番組情報に従って、ネットワーク上のウェブサイトアクセスし、ディスプレイ30に巡回番組を表示(再生)する。

【0017】

図1に示すように、ディスプレイ30に表示される画像は、一般的なウェブブラウザ(例えば、マイクロソフト社のInternet Explorer)によって制御され、アクセスしたウェブサイトの画像が表示される領域31、キャラクタの画像32、カリスマキャラクタのコメントが表示される領域33を備えている。巡回番組情報により指定されるウェブサイトの画像が領域31に表示され、そのウェブサイトに関するカリスマキャラクタのコメントが領域33に表示される。これにより、ユーザ端末20のユーザは、カリスマキャラクタがアクセスしたウェブサイトと同じウェブサイト自動的にアクセスし、カリスマキャラクタの視点を通して新たなウェブサイトへのアクセスを行うことになる。

また、ユーザは、ディスプレイ30に表示された巡回番組によって、今まで自分が知らなかったウェブサイトについて認知することができるようになる。なお、巡回番組は、ディスプレイ30内に、ウェブブラウザによって表示される。

【0018】

これらの巡回番組提供サイト10やユーザ端末20は、ネットワークL上に、多数設けることができる。また、ネットワークL上には、巡回番組に基づきカリスマキャラクタによって紹介されることになるウェブサイトが構築されたWWWサーバも配置されている。

【0019】

<巡回番組提供サイト>

巡回番組提供サイト10には、CPUがメモリからプログラムやデータを読み込んで実行することにより、図2に示すような機能ブロックが形成される。

すなわち巡回番組提供サイト10は、巡回番組情報管理部101と、巡回履歴情報12が記録される巡回履歴情報記録部102と、カリスマキャラクタ情報1

3が記録されるキャラクタ情報記録部103と、ストーリー情報14が記録されるストーリー情報記録部104と、巡回番組インデックス情報15が記録される巡回番組インデックス情報記録部105と、ネットワークLを介して行われるユーザ端末20との通信を制御する通信制御部106と、外部入力部107とを備えている。

【0020】

巡回番組情報管理部101は、巡回番組インデックス情報記録部105に記録された巡回番組インデックス情報15を読み込んで、巡回履歴情報記録部102、キャラクタ情報記録部103、ストーリー情報記録部104にそれぞれ記録された情報を互いに関連付けてひとつの巡回番組情報としてまとめ、ユーザ端末20から要求があると、要求された巡回番組情報を通信制御部106を介して当該ユーザ端末20へ送る機能を有する。

ここで、巡回番組情報インデックス情報15について説明する。巡回番組情報インデックス情報15は、各記録部102～104に記録された巡回履歴情報12、カリスマキャラクタ情報13、ストーリー情報14の情報をひとつの巡回番組として互いに関連付けるレコードから構成される。図3は、巡回番組インデックス情報15のレコードの一例を示す図である。巡回番組情報の各レコードは、巡回履歴IDフィールド111、キャラクタIDフィールド112、ストーリーIDフィールド113、番組タイトル名フィールド114から構成される。

ここで、巡回履歴IDフィールド111には巡回履歴情報12を特定するための巡回履歴IDが入力され、キャラクタID112にはキャラクタ情報13を特定するためのキャラクタIDが入力され、ストーリーIDフィールドにはストーリー情報14を特定するためストーリーIDが入力される。また、番組タイトル名フィールド114には、それぞれの巡回番組に付けられたタイトルが入力される。キャラクタIDフィールド112には、巡回番組の種類に応じて2以上のIDが設定される場合がある（これについては後述する。）。

【0021】

ユーザ端末20は、巡回番組提供サイト10から送信される、巡回番組情報インデックス15中の番組タイトル名フィールド114を読み込むことにより、デ

ディスプレイ 3 0 へ番組のタイトル名の一覧を表示し、ユーザが所望の巡回番組を選択可能にする。また、ユーザ端末 2 0 は、巡回番組提供サイト 1 0 から番組タイトル名フィールド 1 1 4 とともに送信される、後述されるカリスマキャラクターの画像情報 1 3 3 を読み込むことにより、ディスプレイ 3 0 へ番組のタイトル名の一覧とともにカリスマキャラクターの画像を表示し、ユーザが所望のカリスマキャラクターを選択可能にすることもできる。

【 0 0 2 2 】

巡回履歴情報記録部 1 0 2 には、複数のキャラクターの巡回履歴情報 1 2 が記録される。

巡回履歴情報 1 2 は、カリスマキャラクターが行ったウェブサイトの巡回履歴であり、例えば、特定のテーマに従ってウェブサイトの巡回を行った際に辿ったウェブサイトの URL (Uniform Resource Locator) の羅列である。図 4 は、巡回履歴情報 1 2 の例である。巡回履歴情報 1 2 は、各巡回履歴固有の番号である巡回履歴 ID 1 2 1、URL の羅列である巡回履歴 1 2 2 を備える。

【 0 0 2 3 】

カリスマキャラクターは、実在の人物でもよいし、人工的な人格を持つ仮想的な人物でもよい。ここでカリスマキャラクターとは、社会的にその個性、特徴等の人格が明確に理解されうる人物をいう。例えば、実在の有名人（例：有名な美容師）や専門家（美術品鑑定家）、あるいは仮想的に社会的な位置付けができる人物（神奈川県在住の買い物上手な主婦等）である。

実在の人物をモチーフとした場合、当該人物に実際にインターネット上でウェブサイト検索（ウェブサーフィン）を行ってもらい、その結果から巡回履歴情報 1 2 を作成する。カリスマキャラクターが仮想的な存在の場合は、巡回番組提供サイト 1 0 の管理者側で、そのカリスマキャラクターであればそうするであろうという仮定のもとに、インターネット上でウェブサイト検索を行い、巡回履歴 1 2 2 を作成することになる。

キャラクター情報記録部 1 0 3 には、複数のカリスマキャラクターについてのカリスマキャラクター情報 1 3 が記録される。

【 0 0 2 4 】

カリスマキャラクター情報 1 3 は、カリスマキャラクターの名前等のキャラクター自身の情報、巡回番組に表示される画像情報等からなる。図 5 は、カリスマキャラクター情報 1 3 の例を示す図である。カリスマキャラクター情報 1 3 は、カリスマキャラクターを識別するためのキャラクター ID 1 3 1、カリスマキャラクターのプロフィール 1 3 2、カリスマキャラクターの画像情報 1 3 3 を備える。画像情報 1 3 3 によるカリスマキャラクターの画像は、写真や動画、似顔絵、イラスト等、そのカリスマキャラクターを表すすべての画像情報を含む。

【 0 0 2 5 】

ストーリー情報記録部 1 0 4 には、複数のストーリー情報 1 4 が記録される。

ストーリー情報 1 4 は、巡回履歴情報 1 2 により得られるウェブサイトの巡回履歴と、カリスマキャラクター情報 1 3 により得られるカリスマキャラクターの画像とを組み合わせ、ストーリー立てた番組としてユーザに見せるために、ウェブサイトアクセスするタイミングや、そのときに表示するカリスマキャラクターの画像、その他の画像制御情報、カリスマキャラクターのコメントを記述した情報である。

図 6 は、ストーリー情報 1 4 の例を示す図である。ストーリー情報 1 4 は、ストーリー ID 1 4 1、ブラウザ制御シーケンス 1 4 2、アニメーション制御シーケンス 1 4 3、コメント 1 4 4 を備える。ストーリー ID 1 4 1 は、そのストーリーの識別情報である。ブラウザ制御シーケンス 1 4 2 は、ブラウザの起動やブラウザによるウェブサイトへのアクセスのタイミングが記述される。また、アニメーション制御シーケンス 1 4 3 には、ユーザ端末の表示画面におけるブラウザの表示領域以外の領域に、アニメーション（静止画を含む）を表示させるための情報（カリスマキャラクターの画像を特定する情報）、表示のタイミングが記述される。さらに、コメント 1 4 4 は、表示したウェブサイトについてのカリスマキャラクターのコメントを記述したものである。

【 0 0 2 6 】

通信制御部 1 0 6 は、ネットワーク L を介したユーザ端末 2 0 との通信を制御する。特に、ユーザ端末 2 0 からの要求を受信し巡回番組情報管理部 1 0 1 にその要求を伝達し、巡回番組情報管理部 1 0 1 から受け取った巡回番組情報をネッ

トワーク L を介してユーザ端末 2 0 へ送信する。

外部入力部 1 0 7 は、キーボード・タブレット等の入力装置による入力に従って、巡回履歴情報記録部 1 0 2、キャラクタ情報記録部 1 0 3、ストーリー情報記録部 1 0 4、巡回番組情報インデックス記録部 1 0 5 に各種の情報（巡回履歴情報 1 2、カリスマキャラクタ情報 1 3、ストーリー情報 1 4、巡回番組情報インデックス情報 1 5 を含む。）を記録する。

【 0 0 2 7 】

巡回番組提供サイト 1 0 は、ネットワーク L を介してユーザ端末 2 0 からアクセスがあると、ユーザ端末 2 0 のディスプレイ 3 0 に巡回番組インデックス情報記録部 1 0 5 に記録された巡回番組情報インデックス情報 1 5 に基づく画像を表示させるように機能する。ディスプレイ 3 0 に表示される画像には、巡回番組に対応付けられたボタンが表示される。図 7 は、巡回番組情報インデックス情報 1 5 に基いてディスプレイ 3 0 に表示させる画像の一例である。このボタンをユーザがマウス等のポインティングデバイスで選択操作することにより、操作されたボタンに対応するボタン情報が巡回番組提供サイト 1 0 に送信される。選択されたボタンに対応する巡回番組情報が、巡回番組提供サイト 1 0 からユーザ端末 2 0 へ送信される。

上記選択画面表示の制御、選択されたボタン情報の送信は、HTML (Hyper Text Markup Language) およびウェブブラウザを使用したウェブ技術を用いて実現できる。

【 0 0 2 8 】

<ユーザ端末>

ユーザ端末 2 0 は、例えば、CPU や、メモリ、入出力装置、ネットワーク L との通信を行う通信インタフェースを備えた通常のパーソナルコンピュータ等の情報処理端末である。ユーザ端末 2 0 には、CPU がメモリからプログラムやデータを読み込んで実行することにより、図 8 に示すような機能ブロックが形成される。

すなわちユーザ端末 2 0 は、通信制御部 2 0 1 と、巡回番組情報解読部 2 0 2 と、画面表示制御部 2 0 3 と、ウェブサイト記録部 2 0 4 と、外部入力部 2 0 5

と、ブラウザ 2 0 6 とを備えている。

【 0 0 2 9 】

通信制御部 2 0 1 は、ネットワーク L を介した巡回番組提供サイト 1 0 との通信を制御する。特に、巡回番組提供サイト 1 0 へ巡回番組情報の要求を行うと共に、巡回番組提供サイト 1 0 から巡回番組情報を受信する。また、ブラウザ 2 0 6 の要求に応じて、巡回番組提供サイト 1 0 以外のネットワーク L 上のウェブサイトへのアクセスを制御する。

【 0 0 3 0 】

巡回番組情報解読部 2 0 2 は、通信制御部 2 0 1 により受信した巡回番組情報を取り込み、これを解読する。

画面制御部 2 0 3 は、巡回番組情報解読部 2 0 2 により解読された巡回番組情報に従って、ブラウザの起動や終了、ブラウザ 2 0 6 を介したウェブサイトへのアクセスを制御する。また、外部入力部 2 0 5 からの入力に応じて、ブラウザ 2 0 5 によるウェブサイトへのアクセスを制御するとともに、ディスプレイ 3 0 に表示されるブラウザによるウィンドウ以外に表示されるコンテンツ（カリスマキャラクター画像、コメント等）の表示の制御を行う。

ウェブサイト記録部 2 0 4 には、アクセスしたウェブサイトの情報が格納される。

【 0 0 3 1 】

外部入力部 2 0 5 は、キーボードやマウス等の入力装置による入力に従って、情報をブラウザ制御部 2 0 3 へ送る。

ブラウザ 2 0 6 は、標準的なブラウザ（例えば、Internet Explorer）であって、ウィンドウ 3 0 にウィンドウを開き、アクセスしたウェブサイトから受信した情報をそのウィンドウ内に表示する。

【 0 0 3 2 】

巡回番組情報解読部 2 0 2 及び画面表示制御部 2 0 3 で行われる処理について、さらに詳細に説明する。

まず、巡回番組情報解読部 2 0 2 は、巡回番組情報を解読して、巡回履歴情報 1 2、カリスマキャラクター情報 1 3、ストーリー情報 1 4 を抽出する。

【 0 0 3 3 】

次に、巡回番組情報解読部 2 0 2 は、巡回履歴情報 1 2 を画面表示制御部 2 0 3 へ送る。画面表示制御部 2 0 3 は、巡回履歴 1 2 2 に記述されたウェブサイトへブラウザ 2 0 6 を介してアクセスし、巡回履歴 1 2 2 で指定されたすべてのウェブサイトに含まれる情報をウェブサイト記録部 2 0 4 に格納する。このように巡回履歴情報 1 2 で指示されるウェブサイトの情報を予めウェブサイト記録部 2 0 4 にダウンロードしておくことにより、ネットワークの混雑状態に関係なく、ディスプレイ 3 0 に確実にウェブサイトの情報を表示できるようになる。

ただし、このようにウェブサイトの情報を事前にウェブサイト記録部 2 0 4 に記憶させておくことは、本発明において必須の事項ではない。後述するブラウザ制御シーケンスに従って、巡回履歴情報 1 2 で指示されるウェブサイトとその都度アクセスするようにしてもよい。

【 0 0 3 4 】

続いて、巡回番組情報解読部 2 0 2 による、ストーリー情報 1 4 のブラウザ制御シーケンス 1 4 2 およびアニメーション制御シーケンス 1 4 3 の実行について説明する。図 9 は、ブラウザ制御シーケンス 1 4 2、アニメーション制御シーケンス 1 4 3 の一例を示す図である。

まず、巡回番組情報解読部 2 0 2 は、ストーリー情報 1 4 のブラウザ制御シーケンス 1 4 2 を実行して、画面表示制御部 2 0 3 へ指示を出す。例えば、時刻「0 : 0 0 : 0 0」にブラウザを起動してディスプレイ 3 0 にそのウィンドウを表示するように、時刻「0 : 0 0 : 1 0」に www.aaa.com のウェブサイトアクセスするように、画面表示制御部 2 0 3 に指示を出す。画面表示制御部 2 0 3 は、ブラウザ制御シーケンスに基づいて、ブラウザ 2 0 6 を制御し、巡回履歴情報 1 2 に記述されたウェブサイトを自動的に表示させる。

また、巡回番組情報解読部 2 0 2 は、ストーリー情報 1 4 のアニメーション制御シーケンス 1 4 3 を実行するように、画面表示制御部 2 0 3 へ指示を出す。例えば、時刻「0 : 0 0 : 0 0」にディスプレイ 3 0 にカリスマキャラクターの画像を表示し、時刻「0 : 0 0 : 1 5」にそのコメントをカリスマキャラクター画像の横に表示させる。アニメーション制御シーケンス 1 4 3 によって、CGアニメーシ

ョン、ムービー、音声からなるより動きの多いアニメーションを表示させてもよい。

【 0 0 3 5 】

ブラウザ制御シーケンスとアニメーション制御シーケンスとの同期は、画面表示制御部 2 0 3 に供給される基準時刻情報（図示せず）に基づいて行う。すなわち、図 9 に示すように、それぞれのシーケンスには発生させるべきイベント（ウェブサイトへのアクセス、カリスマキャラクター画像の表示、コメントの表示等）とその発生時刻とが記述されており、巡回番組情報解読部 2 0 2 は、その発生時刻に基づいて画面表示制御部 2 0 3 へ指示を出す。基準時刻情報は、ブラウザ制御シーケンスおよびアニメーション制御シーケンスの開始時にリセットされる。

【 0 0 3 6 】

巡回番組を表示中に外部入力部 2 0 5 から指示がある場合は、巡回番組情報解読部 2 0 2 からの指示を中断して、外部入力部 2 0 5 の指示を実行する。例えば、あるウェブサイトがディスプレイ 3 0 の領域 3 1 に表示され、カリスマキャラクターの動画が表示されている巡回番組の実行中に、マウスにより新しいブラウザを起動する指示を与えると、巡回番組の進行が中断してカリスマキャラクターの動画が止まり、新たなブラウザを起動するようになる。

追加的な情報として、ブラウザ制御シーケンス 1 4 2 またはアニメーション制御シーケンスと関連付けて、ストーリー情報 1 4 に分岐自由度情報を加えてもよい（図示せず）。分岐自由度情報は、ブラウザ制御シーケンスに従ってウェブサイトが表示されているときに、ユーザの操作による巡回番組の進行の中断、他のブラウザの起動を制限するための情報である。ここで分岐自由度情報は複数の自由度レベル、例えば 3 段階（レベル 1 ～ 3）のレベルを持つように設定できる。3 段階の自由度を設定した場合、レベル 1 でユーザの操作を完全に許可、レベル 2 で一定条件下で操作を許可、レベル 3 で操作を完全に禁止する、というように制限のレベルを変化させることが可能である。分岐の自由度（ユーザによる操作の制限）は、上記基準時刻情報に基き、上記自由度レベルを記述することによって設定できる。分岐自由度情報は、巡回番組情報解読部 2 0 2 によって順次解読

され、画面表示制御部 2 0 3 は巡回番組情報解読部 2 0 2 からその制限レベルを受け取って、ユーザによる巡回番組進行中の操作を制限する。

【 0 0 3 7 】

<運用形態>

以上のような構成によるウェブサイトの巡回番組の提供は、以下のように行われる。図 1 0 のフローチャートを用いて説明する。

ユーザは、ユーザ端末 2 0 により、ネットワーク L を介して巡回番組提供サイト 1 0 にアクセスする（ステップ S 1 0）。巡回番組提供サイト 1 0 にアクセスすると、上述のディスプレイ 3 0 には巡回番組提供サイト 1 0 のページが表示される（図 7）。ディスプレイ 3 0 の表示から、ユーザが、入力装置により選択することにより、巡回番組提供サイト 1 0 に所望の巡回番組の要求を行う（ステップ S 2 0）。

【 0 0 3 8 】

ユーザ端末 2 0 から巡回番組の要求があると、巡回番組提供サイト 1 0 は、要求に基づいた巡回番組情報を、要求のあったユーザ端末 2 0 へ送る（ステップ S 3 0）。

詳細には、ユーザ端末 2 0 からの要求が巡回番組ボタン 6 1 を選択することにより行われると、巡回番組情報管理部 1 0 1 は、選択された巡回番組ボタン 6 1 に対応する巡回番組情報を各記録部 1 0 2 ～ 1 0 5 から取り込み、通信制御部 1 0 6 からネットワーク L を介して、要求元のユーザ端末 2 0 へ送る。

【 0 0 3 9 】

巡回番組情報を入手したユーザ端末 2 0 は（ステップ S 4 0）、巡回番組情報解読部 2 0 2 により巡回番組情報を解読して、巡回履歴情報 1 2、カリスマキャラクター情報 1 3、ストーリー情報 1 4 を抽出し、これらの情報により、ディスプレイ 3 0 に巡回番組を表示する（ステップ S 5 0）。

【 0 0 4 0 】

このようにして、ユーザは、所望の巡回番組をディスプレイ 3 0 により視聴することができる。巡回番組により、カリスマキャラクターの視点で行われるウェブサイト巡回を通して新たなウェブサイトを知ることができる。

巡回番組を表示中に、例えば、番組中に出てきたウェブサイトに興味を持ち、自分で独自にアクセスしたい場合などは、別のブラウザを起動し、起動したブラウザのブラウザ画面に表示させることもできる。このような場合、巡回番組を中断して、ユーザが開いたブラウザの終了や、復帰操作を待って再開するようにする。これは、画面表示制御部 2 0 3 が、外部入力部 2 0 5 を介したユーザの要求に応じて、別のブラウザを起動した際に巡回番組の再生を中断し、また別のブラウザを終了させた際に巡回番組の再生を再開することにより実現可能である。これにより、巡回番組を表示中でも、ユーザは、所定の操作によりブラウザを起動して所望のウェブサイトへアクセスして、情報を得ることができる。

前述のとおり、ストーリー情報 1 4 に分岐自由度情報が付加されている場合には、その自由度レベルによっては、別ブラウザの起動が制限される場合がある。

【 0 0 4 1 】

<実施例>

以下に、カリスマキャラクターを複数用いることにより、巡回番組をテレビのいわゆる情報クイズ番組の形式で作成してユーザに提供する実施例について説明する。

この巡回番組は、ディスプレイ 3 0 に図 1 1 のような構成で表示される。この画面上では、カリスマキャラクターとして、司会者 7 1、解答者 7 2、解答者 7 3 及び出題者 7 4 が表示される。

【 0 0 4 2 】

司会者 7 1 は、この巡回番組の進行を行うカリスマキャラクターである。進行は、ストーリー情報 1 4 のブラウザ制御シーケンス 1 4 2 およびアニメーション制御シーケンス 1 4 3 に基づいて行われる。巡回番組の進行に必要な司会者 7 1 のコメントは、アニメーション制御シーケンス 1 4 3 に基づき、コメント領域 7 1 a に表示される。

【 0 0 4 3 】

解答者 7 2、7 3 は、それぞれ異なるプロフィールを持っており、巡回履歴情報 1 2 もそれぞれに持っている。それぞれの巡回履歴情報 1 2 によるウェブサイトは、それぞれのウェブサイト表示領域 7 2 a、7 3 a に表示される。また、ク

イズに対する解答もウェブサイト表示領域 7 2 a、7 3 a に表示される。それぞれのプロフィールは、プロフィール表示領域 7 2 b、7 3 b に表示される。プロフィールは、カリスマキャラクター情報 1 3 のプロフィール 1 3 2 に基づいて表示される。

【 0 0 4 4 】

出題者 7 4 は、クイズの問題に関する専門家であり、出題、正解の説明、講評などを行う。図 1 1 の場合は、出題者 7 4 はコックであり、料理の専門家であることを視覚的にわかりやすく表している。出題、正解の説明、講評などは、表示領域 7 4 a に表示される。出題や正解の説明もウェブサイトを巡回しながら行うことができ、この巡回順序を示すために、出題者 7 4 も巡回履歴 1 2 を持っている。

【 0 0 4 5 】

このような情報クイズ番組形式の巡回番組を作成するために、巡回番組情報管理部 1 0 1 は、巡回番組インデックス情報 1 5 に基き、キャラクター情報記録部 1 0 3 から、司会者 7 1、解答者 7 2、7 3、出題者 7 4 のキャラクター情報を読み出す。

出題者 7 4 は、出題内容に応じて、その分野の専門家を設定する。専門家か否かは、プロフィール 1 3 2 により判断する。出題内容は、外部から入力される。

解答者 7 2、7 3 は、出題内容に関する巡回履歴を記録させたカリスマキャラクターを選択する。なお、解答者の数は、2 人に限られていないことは言うまでもない。解答者は、できるだけ異なる個性を持ったカリスマキャラクターを選ぶようにすると、解答の幅が広がり、より多様なウェブサイトへのアクセスを提供できる。

【 0 0 4 6 】

そして、巡回番組情報管理部 1 0 1 は、巡回番組インデックス情報 1 5 に基き、解答者 7 2、7 3 及び出題者 7 4 の巡回履歴情報 1 2 を巡回履歴情報記録部 1 0 2 から読み出す。解答者 7 2、7 3 の巡回履歴情報 1 2 には、出題に対する解答を導く出すために、それぞれの個性に合った順序の巡回履歴が記述される。解答者 7 2、7 3 の巡回履歴には、正解があるウェブサイトの URL が含まれる必

要は必ずしもない。出題者 7 4 の巡回履歴情報 1 2 は、出題に対する正解を導き出すための巡回履歴を示す。例えば、正解が「www.zzz.com」という URL のウェブサイトにある場合、出題者の巡回履歴情報 1 2 には、「www.zzz.com」の URL がどこかに含まれる。

【 0 0 4 7 】

次に、巡回番組情報作成部 1 0 1 は、巡回番組インデックス情報 1 5 に基き、ストーリー情報記録部 1 0 4 からストーリー情報 1 4 を読み出す。ストーリー情報 1 4 は、例えば、以下のようなストーリーを提供する。

【 0 0 4 8 】

まず、最初にブラウザを起動させる。次いで、司会者 7 1 が登場し、番組のオープニングのコメントをコメント領域 7 1 a に表示させる。次いで、解答者 7 2、7 3 を表示させる。このとき、解答者 7 2、7 3 のプロフィールをそれぞれのプロフィール表示領域 7 2 b、7 3 b に表示させる。次いで、出題者 7 4 を登場させる。このとき、司会者 7 1 が出題者 7 4 を紹介するようなコメントを、コメント領域 7 1 a に表示させる。

【 0 0 4 9 】

次いで、表示領域 7 4 a に問題を表示させる。次いで、解答者 7 2 が、問題に対する解答を得る過程を、ウェブサイト表示領域 7 2 a に表示させる。解答を得る過程が、ウェブサイトを巡回して表示する過程に対応する。次いで、解答者 7 3 が、問題に対する解答を得る過程を、ウェブサイト表示領域 7 2 a に表示する。

次いで、問題に対する正解を表示領域 7 4 a に表示させる。そして、正解を得る過程を表示させる。正解を得る過程も、ウェブサイトを巡回して表示する過程に対応する。

問題の表示から、正解の説明の間、司会者 7 1 がコメント領域 7 1 a に気の利いたコメントをしているように、コメントを表示させてもよい。

【 0 0 5 0 】

各コメント、解答者 7 2、7 3 のプロフィール、司会者 7 1、解答者 7 2、7 3、出題者 7 4 の画像は、カリスマキャラクター情報 1 3 に含まれている。ウェブ

サイトの巡回は、巡回履歴情報 1 2 ににより示される順序で行われる。

【0051】

以上の巡回番組の表示制御は、巡回番組情報解読制御部 2 0 2、画面表示制御部 2 0 3 およびブラウザ 2 0 6 が、巡回履歴情報 1 2、カリスマキャラクター情報 1 3、ストーリー情報 1 4 中のブラウザ制御シーケンス 1 4 2、アニメーション制御シーケンス 1 4 3、コメント 1 4 4 に基づいて行う。詳細には、ウェブサイト表示領域 7 2 a、7 3 a、7 4 a は、ウェブブラウザ 2 0 6 によって制御される領域であり、司会者 7 1、解答者 7 2、解答者 7 3 及び出題者 7 4 の画像、司会者 7 1 のコメント領域 7 1 a、解答者 7 2・7 3 のプロフィール表示領域 7 2 b、7 3 b は画面表示制御部 2 0 3 によって表示制御される。

【0052】

そして、前述したようなストーリーを提供することにより、ユーザに情報クイズ番組を通した各ウェブサイトの情報を提供可能になる。ユーザは、出題者 7 4 による、問題に対する専門的な目、解答者 7 2、7 3 による、それぞれのカリスマキャラクターの個性にあった目により、様々な切り口の解答を得ることができる。

このようにして、1つの問題に対する様々な解答を通じて、様々な分野の多くのウェブサイトの存在を知ることができ、ネットワーク上から豊富な情報を得ることができる。

【0053】

【発明の効果】

以上の説明から、本発明により、ネットワーク上のウェブサイト情報をユーザに興味を持たせるように編集した番組を作成し、ユーザ端末においてそのようなウェブサイト情報を自動的に再生可能にすることができる。

また本発明の応用により、カリスマキャラクターに応じたウェブサイトの巡回を通じて、ユーザに、様々なウェブサイトを紹介し、ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行うことができるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態のシステム全体の構成図。

【図 2】

巡回番組提供サイトの機能ブロック図。

【図 3】

巡回番組インデックス情報 1 5 の例示図。

【図 4】

巡回履歴情報 1 2 の例示図。

【図 5】

カリスマキャラクタ情報 1 3 の例示図。

【図 6】

ストーリー情報 1 4 の例示図。

【図 7】

巡回番組提供サイト 1 0 のページの初期画面。

【図 8】

ユーザ端末の機能ブロック図。

【図 9】

ブラウザ制御シーケンス、アニメーション制御シーケンスの例示図。

【図 1 0】

巡回番組の提供方法のフローチャート。

【図 1 1】

巡回番組を情報クイズ番組の形式で作成したときの画面。

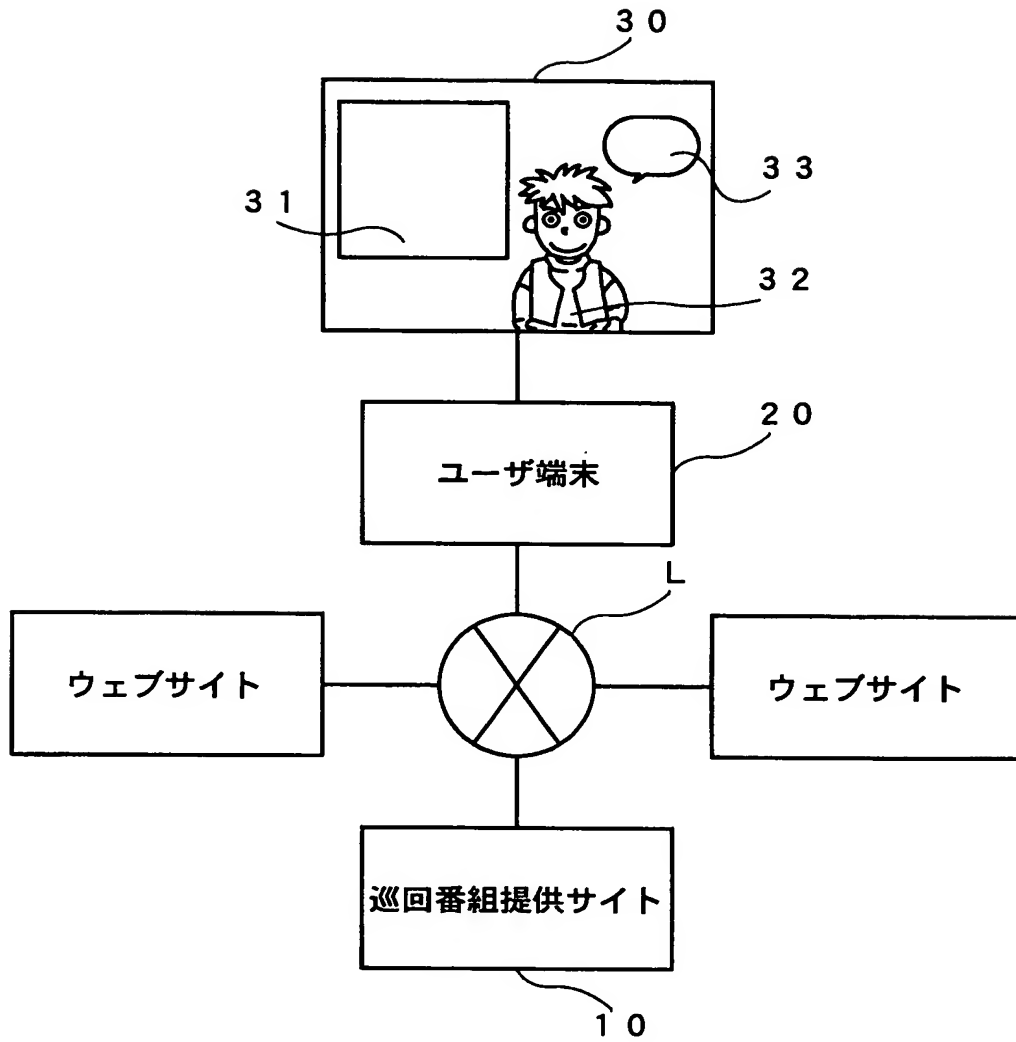
【符号の説明】

- 1 0 巡回番組提供サイト
- 1 2 巡回履歴情報
- 1 3 カリスマキャラクタ情報
- 1 4 ストーリー情報
- 1 5 巡回番組インデックス情報
- 1 0 1 巡回番組情報管理部
- 1 0 2 巡回履歴情報記録部

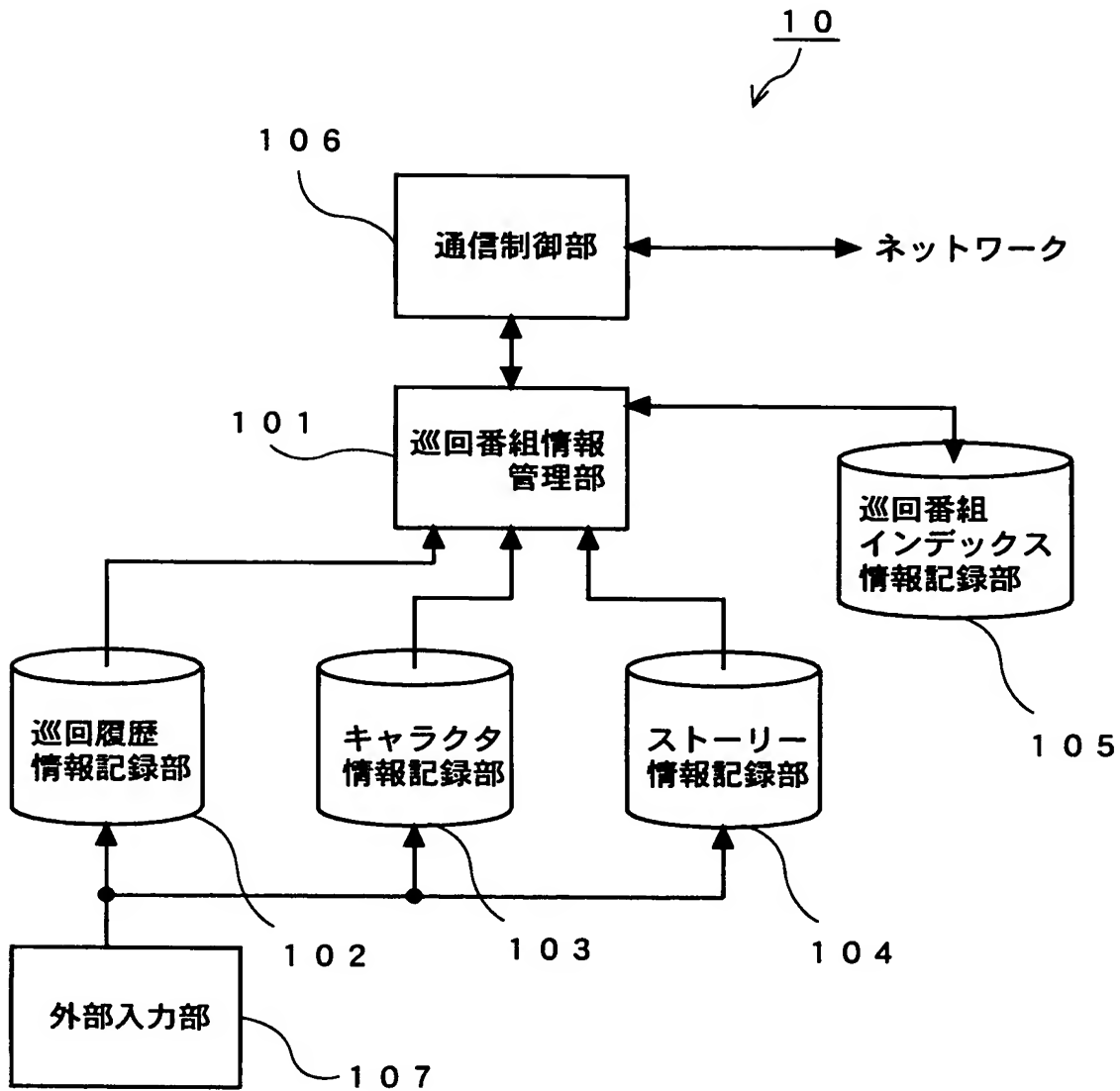
- 1 0 3 キャラクタ情報記録部
- 1 0 4 ストーリー情報記録部
- 1 0 5 巡回番組インデックス情報記録部
- 1 0 6 通信制御部
- 1 0 7 外部入力部
- 2 0 ユーザ端末
- 2 0 1 通信制御部
- 2 0 2 巡回番組情報解読部
- 2 0 3 画面表示制御部
- 2 0 4 ウェブサイト記録部
- 2 0 5 外部入力部
- 2 0 6 表示制御部
- 3 0 ディスプレイ
- 3 1 ウェブサイトの画像が表示される領域（ブラウザのウィンドウ）
- 3 2 カリスマキャラクターの画像
- 3 3 カリスマキャラクターのコメントが表示される領域

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

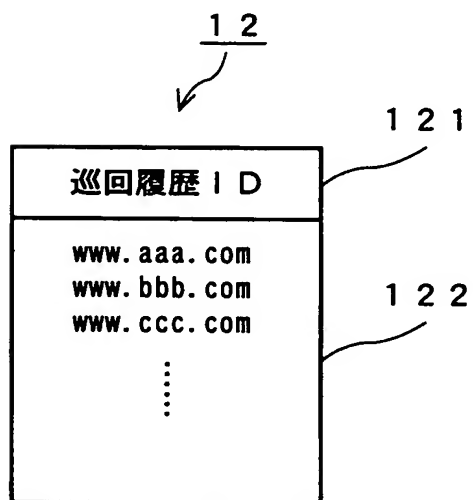


【図 3】

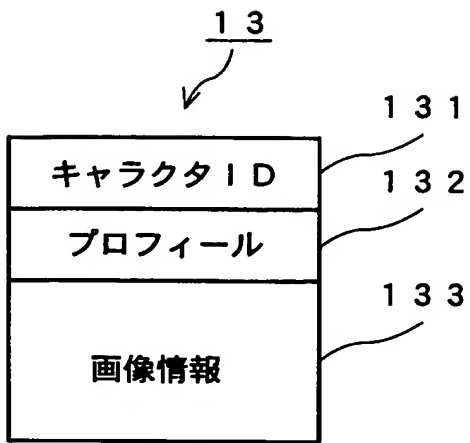
1 5
↙

1 1 1 巡回履歴 I D	1 1 2 キャラクタ I D	1 1 3 ストーリー I D	1 1 4 番号タイトル名
0 1
0 2
0 3
⋮	⋮	⋮	⋮

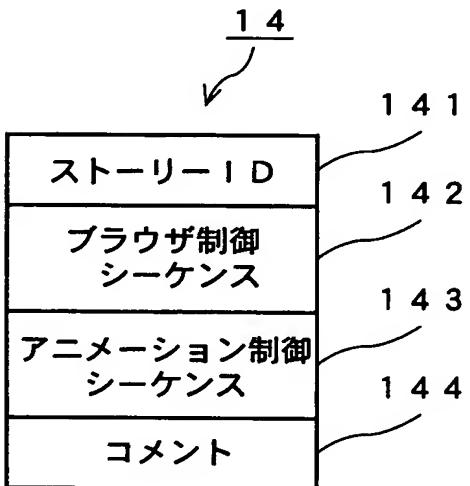
【図 4】



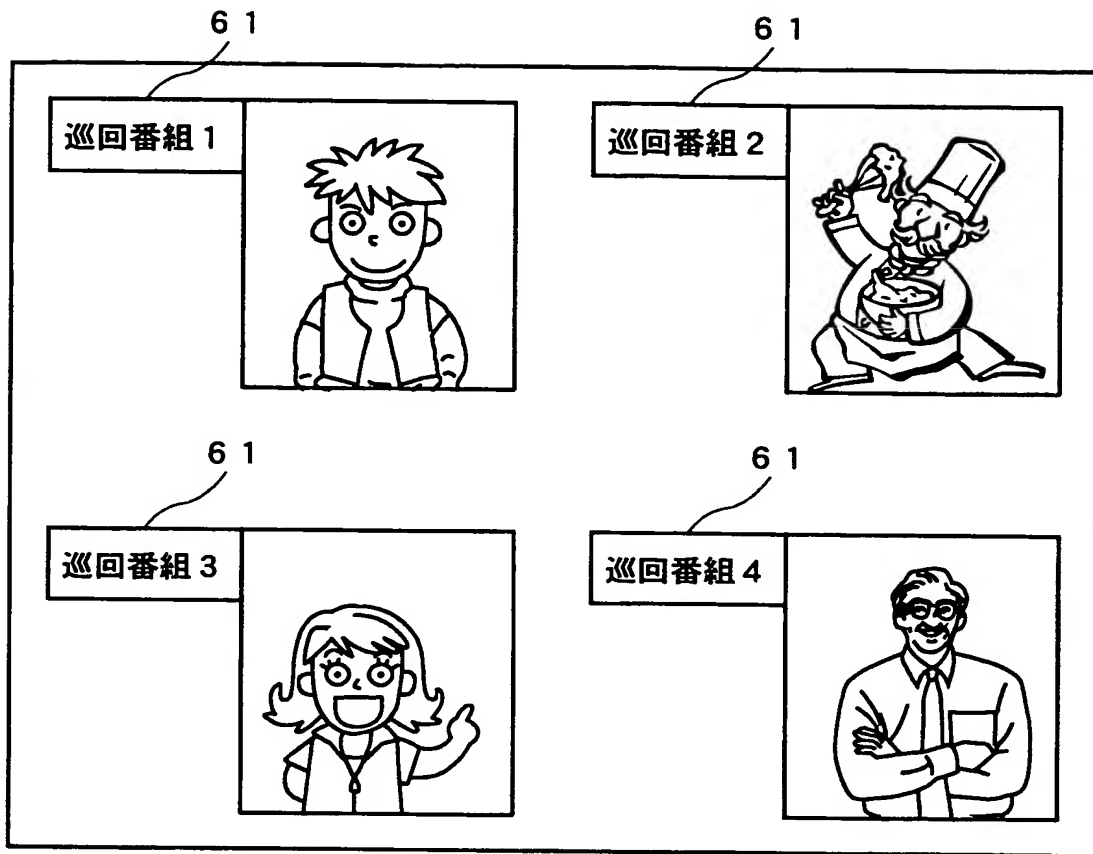
【図 5】



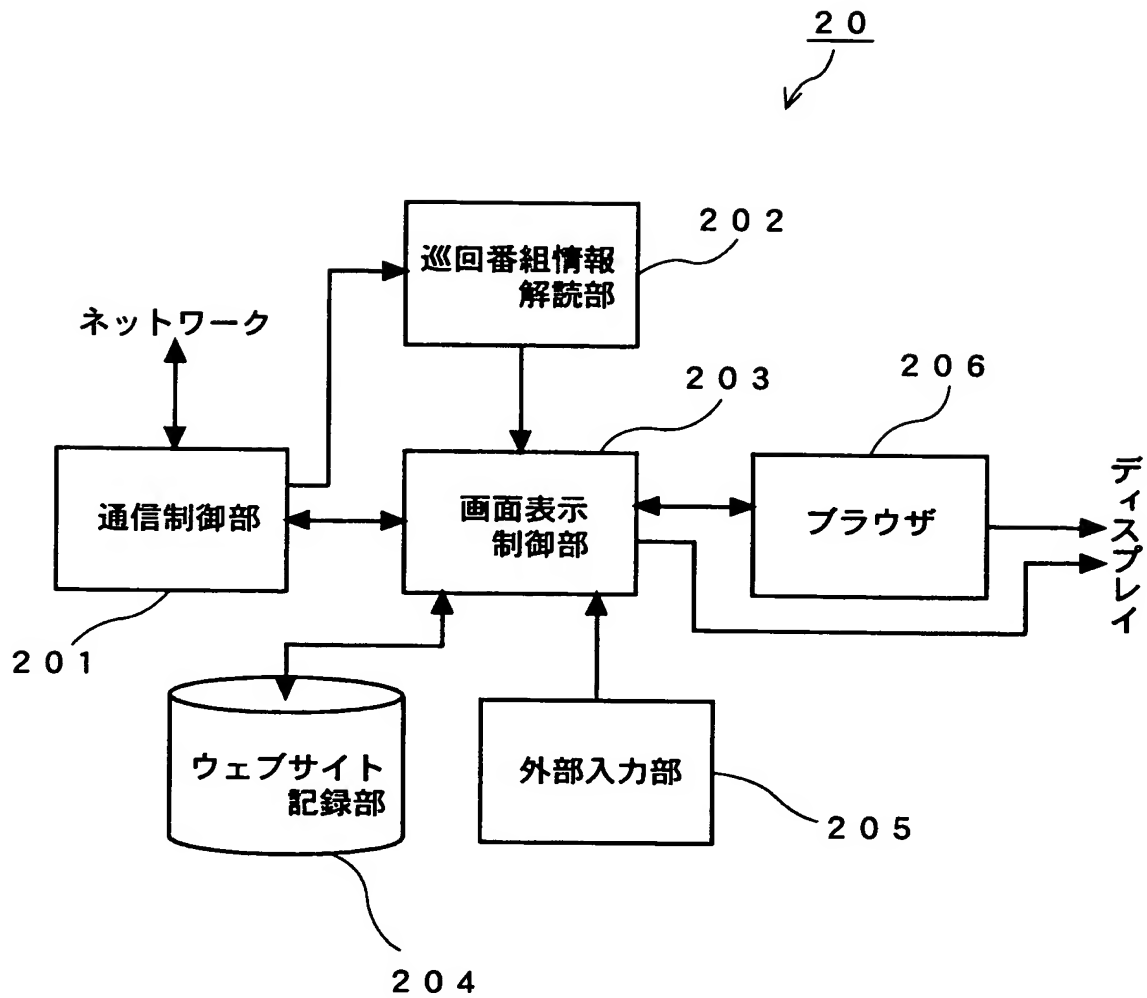
【図 6】



【図 7】



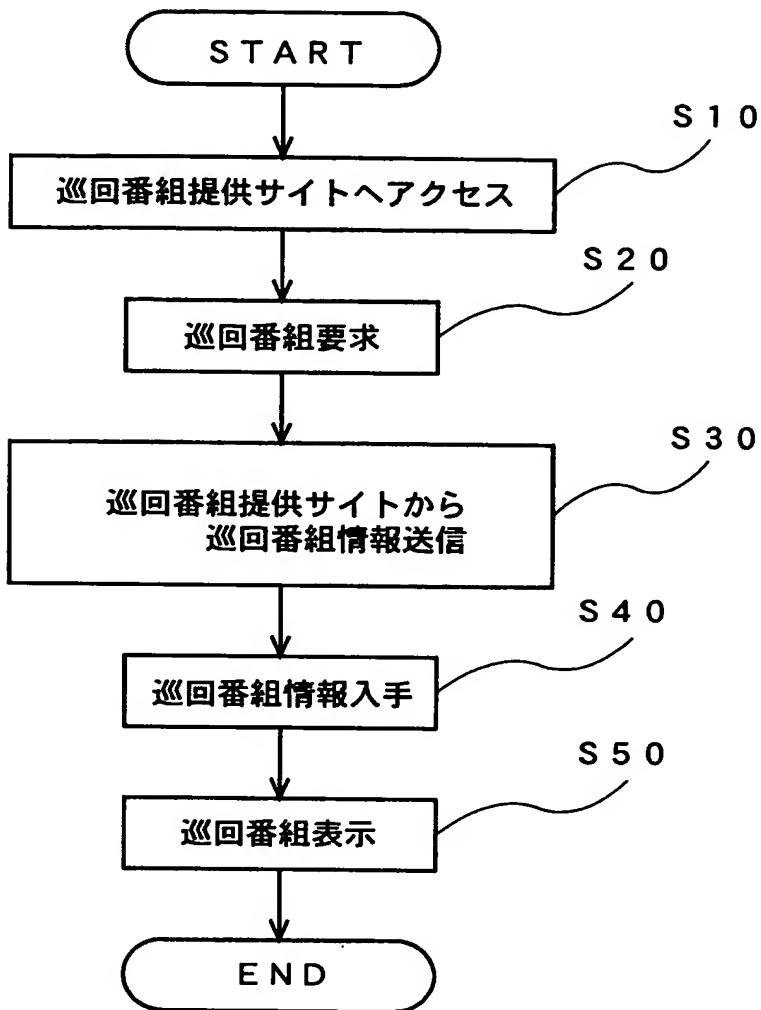
【図 8】



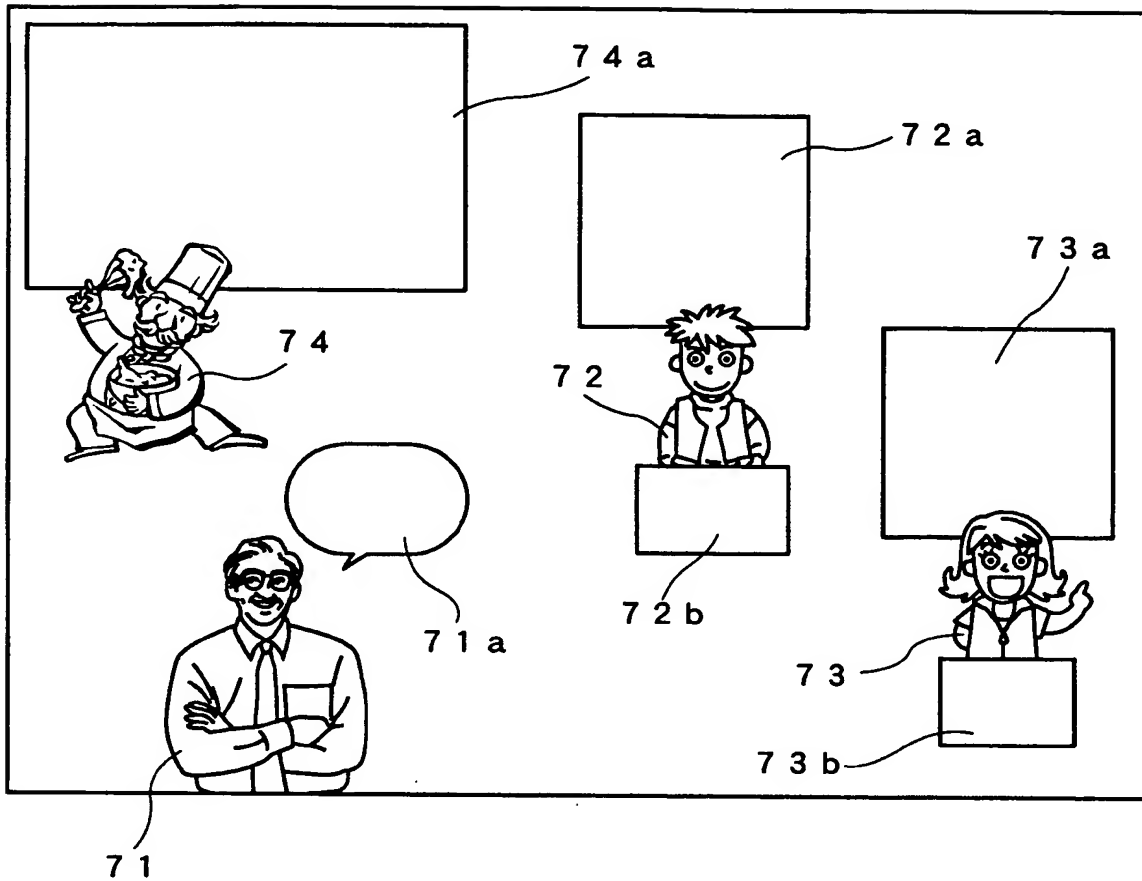
【図 9】

時刻	ブラウザ制御 シーケンス	アニメーション制御 シーケンス
0:00:00	ブラウザ起動	キャラクタ表示
0:00:10	URL:www.aaa.com	
0:00:15		コメントA
⋮	⋮	⋮

【図 1 0】



【図 11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザが興味のある情報を検索するためのサポートを行う技術を提供する。

【解決手段】 ユーザ端末にネットワークを介して接続され、キャラクタがウェブサイトを紹介する巡回番組を表す巡回番組情報を前記ユーザ端末に提供する情報提供装置は、ウェブサイトの巡回履歴を示す巡回履歴情報が記録される巡回履歴情報記録手段と、キャラクタの画像情報を含むキャラクタ情報が記録されるキャラクタ情報記録手段と、巡回履歴情報で示されるウェブサイトへのアクセスタイミングと、キャラクタの画像情報の表示のタイミングと、キャラクタのコメントの種類およびその表示のタイミングとを定めるストーリー情報が記録されるストーリー情報記録手段と、ユーザ端末からの要求に応じて、巡回番組情報を構成する巡回履歴情報、キャラクタ情報及びストーリー情報を送出する巡回番組情報送出手段とを備える。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [395015319]

1. 変更年月日 1997年 3月31日

[変更理由] 住所変更

住 所 東京都港区赤坂7-1-1

氏 名 株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント